

学校教育目標	自ら気づき、考え、進んで行動（表現）する新庄っ子の育成
ミッション	地域に関われた信頼される学校
ビジョン	安全・安心・愛情のある学校経営
目指す学校像	「笑顔があふれる 楽しい学校」 ～合言葉「あ・そ・ぼ・う・ね」～

中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	担当分掌	評価指標	目標値	後期評価	自己評価（後期評価）の結果と課題の説明	来年度へ向けての取組	評価	学校運営協議会委員のコメント	
健やかな体	健康でねばり強い心と体を育成する。 (体)	体力の向上に課題意識や目標をもって取り組む力の育成	◎業間運動を実施する。 ○新体力テスト(1学期)やマラソン大会(2学期)における前年度の記録を提示し、児童に目標や意欲をもたせる。	指導	□児童アンケートの肯定的割合 ・休憩時間には、自分も友達も、楽しく遊んでいる ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している □新体力テスト前年度全国平均を上回る種目数(96項目中) ・6月実施の持久走や、マラソンの試走での個人の伸び率80%以上	90% 65項目	B	○休憩時間には、自分も友達も、楽しく遊んでいる…93.9% △難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している…81.8% ・両項目とも前期を下回った。 △持久走の伸び率…45% ○マラソンの伸び率…92% ・実施の際に体調不良等で走れない児童が多かった。	・休憩時間には外で遊ぶよう、教職員や児童会での声かけをするとともに、肯定的な評価も続けていく。 ・縦割り班遊び等を企画・運営する。 ・新体力テスト、郡陸上記録会、マラソン大会等の体育行事の前に、複数の数値を提示して具体的な数値目標を設定させる場を設ける。また、玄関や教室への掲示を行い、数値へのイメージや意識を持たせるように工夫する。 ・引き続き、業間運動では、各行事の取り組みをサポートできるように計画し、意欲的に取り組めるように大会や発表の場を設定する。	◎	生活経験の乏しさが握力等の数値に出ているのではないかと。数値目標の設定等、引き続き有効な取組を継続してほしい。
							B				
豊かな心	他者と協働して高まる豊かな心を育成する。 (徳)	自他の人権を尊重し、自分の役割や責任を果たし、協働しようとする力の育成	◎特別活動を中心に「自ら気づき、考え、進んで行動する」ことができるよう計画的・意図的な指導を行う。(当番、係、委員会、クラブ) ◎帰りの会での自分・友達のがんばり発表を継続して行う。 ○各種行事前には成長ノートに目標等書き、実施後振り返りをさせる。	指導	□児童アンケート肯定的評価の割合 ・友達と力を合わせて進んで活動している(当番、係、委員会) ・すみずみまで時間いっぱい、みつけ掃除をしている □児童アンケートの肯定的評価の平均割合 ・自分にはよいところがある ・友達から認められている ・先生から認められている ・がんばっていることがある	85%	A	○友達と力を合わせて進んで活動している(当番、係、委員会)…87.9% ○すみずみまで時間いっぱい、みつけ掃除をしている…90.9% △自分の良いところ…97% △認められている…89.4%(友達84.8、先生93.9%) ○がんばっていることがある…84.8% ・成長ノートは、全学年で取り組み、自分のがんばりを振り返らせた。教職員の肯定的な声かけが児童の自信につながっているように感じるが、友達同士の肯定的評価はまだ不十分であると考える。	・それぞれの活動を肯定的に評価する機会を増やし、児童の自己肯定感を高める取組をさらに充実させる。(児童のがんばり「一歩みだす力」「チームでやりとげる力」を学期毎に更新、職員から児童「にっこり玉手箱」全教職員年に2回)	◎	豊かな心も統合の際にとっても必要な要素。自分たちで気付いて動く、友達と協力する力をしっかりつけてほしい。
							A				
確かな学力	主体的・対話的に学び合い、確かな学力を身につけた児童を育成する。 (知)	日々の授業改善による学力の向上	◎「新庄の学び愛スタンダード7」から、担任と児童が目標を設定し、月末に振り返り、授業改善を図る。(年5回の振り返りと成長ノートやアンケート) ○寺子屋の時間を活用した個別学習の充実を図る。(月：学校実態に応じた内容、火：漢字学習、木：算数学習)	教務	□児童アンケート肯定的評価の割合 ・授業の内容が分かる(国、算) □学期末まとめテスト(国、算)の「知・技」の点数が全国平均以上の割合(全児童数中) □CRTテストの結果が全国平均以上の割合(全児童数中)	90% 90% 65% 75%	B	授業の内容が分かる…国語94%、算数85% ・算数では高学年が難しいと感じている。 2 学期末テストの結果が全国平均以上の割合…国語87%、算数82% ・単元終了後のテストでは理解できていても、学期末になると忘れてしまっている児童がいる。 ・問いを正確に理解し、しっかり考えて答えていない児童がいる。	・学期毎にスタンダード7の重点目標を職員に聞き取りながら決め、日ごろの授業で意識して取り組んでもらい、校内授業研究の協議で取組の改善を図る。 ・寺子屋で取り組む課題を豊富に用意し、自己の課題に応じて取り組めるように環境を工夫する。	◎	学力をつけるのが学校の役目、あらゆる手段を講じて、子ども達に学力をつけてほしい。児童による選択式の補充に期待している。
							B				
信頼される学校	地域に関われ、地域や保護者から信頼される学校づくりを行う。	積極的な情報発信や地域の体験活動の推進	◎学校便り・学級通信(月1回程度)の発行や学校HP(2週間毎更新)で、児童の頑張りや成長を積極的に発信する。 ○地域を元気にするあいさつをめざし、模範となる児童を全校児童の前で意図的に褒める。 ○保護者・地域の協力を得ながら、「キャリア教育」や「夢プロ」等の体験活動の取組を計画的に実施する。	総務	□保護者及び児童アンケートの肯定的評価の割合 <保護者> ・本校の教育に満足している。 ・教職員は丁寧に対応している。 ・子供は楽しく学校に通っている。 ・自分の生き方を考え、豊かな心をもった子供を育てようとしている。 ・働く意味や大切さを考え、将来の職業について考えさせる教育に意欲的に取り組んでいる。 <児童> ・学校に行くのは楽しい。	85%	A	<保護者>32人/34人 (前期) A 新庄小に通わせてよかった96.9%(100%) / A 学校は丁寧に対応…100%(93.1%) / A 楽しく学校に通っている…93.8%(100%) / B 豊かな心をもった子供…93.7%(79.3%) / B 将来の職業について…87.6%(75.9%) / B 明るく元気のよいあいさつ…93.8%(79.3%) / <児童>33人/34人 A 学校に行くのは楽しい…100%(100%) → A 自分から気持ちのよい挨拶…90.9%(94.1%) \、 ・将来の仕事につながる授業について、今年度、キャリア教育の中で取り組んでいるが、それが保護者に伝わっていない。 ・道徳の授業内容や児童の変容など、参観授業や学級通信などで伝えていく必要がある。 ・児童、保護者とも学校の対応には満足。	・新庄小ラストイヤーということもあり、運動会や演奏会等で地域と交流する場面を増やしていく。 ・地域との繋がりを大切にするため、「元気のよいあいさつ」「大きな声で返事」「笑顔」で地域の方に対応できるよう、下校時や朝会時で生徒指導担当を中心に声かけし、校内でも当たり前をめざす。 ・再来年度の大朝小との統合に向け、大朝小との交流を深める活動を仕組む中で、相手のよさに気付く、自分のよさを伝えることができるように自己肯定感を高める取組を引き続き行う。 ・出前授業を活用し、地域の方を先生に迎え、体験活動を仕組むことで、地域との交流を図り、地域のよさを実感させる。 ・学校ホームページを一週間毎に更新し、学級通信の役割も担うようにする。	◎	人数が他校に比べて少ないとは言え、肯定的評価100%はすごい値。ホームページ更新の時間を短くすることが、先生方の負担にならないよう、無理のないようにしてほしい。無理のない範囲での周知策を望んでいる。信頼される学校をいかに大朝小に引き継いでいくか考えて、魅力ある学校づくりに頑張ってもらいたい。
							A				